

ガスふろ給湯器

取扱説明書(保証書付)

機器本体編

BL認定品

型番

<全自動タイプ>
131-N630型

型式名

GRQ-1650(S)AX

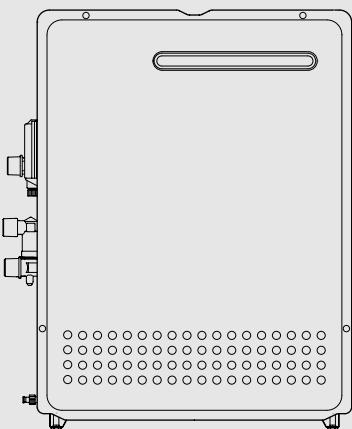
まずはじめに

ご使用前に

必要なとき

困ったとき

ご参考



SBB80M1



この取扱説明書の見かた

このたびはガスふろ給湯器をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

*この取扱説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。なお、ご不明な点があればお買い上げの販売店または、もよりの大坂ガスにお問い合わせください。

*保証書の内容もよくお読みいただき、保証期間・保証内容を確かめてください。

*この取扱説明書(保証書付)は、別冊のリモコン操作編の取扱説明書と併せて、いつでもご覧になれるところに保管してください。

この取扱説明書はガスふろ給湯器に関する内容のみ記載しています

*リモコンの操作については、別冊のリモコン操作編の取扱説明書で説明していますので、併せてお読みください。

*別売品の取扱説明書がある場合は、必ずそちらも併せてお読みください。

もくじ

まずははじめに

この取扱説明書の見かた	2
もくじ	2
必ずお守りください(安全上の注意)	3

ご使用前に

初めてお使いになるときは	9
各部のなまえとはたらき(機器本体)	10

必要なとき

凍結による破損を予防する	11
長期間使用しないとき(水抜きの方法)	13
日常の点検・お手入れのしかた	15
「あんしん点検」のおすすめ	18

困ったとき

故障・異常かな?と思ったら	19
アフターサービスについて	25

ご参考

主な仕様	26
保証書	裏表紙

必ずお守りください(安全上の注意)-1

リモコン操作編の取扱説明書の内容も併せてお読みください。

お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

△危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

△警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

△注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お願ひ

安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容を示しています。

まずははじめに

△危険

ガス漏れに気づいたときは、

1. すぐに使用をやめる
2. ガス栓を閉める
また、メーターのガス栓
も閉める
3. 販売店または、もよりの
大阪ガスに連絡する



必ず守る

屋内に設置しない

一酸化炭素中毒の原因に
なります。



禁止

ガス漏れ時は、絶対に

- ・火をつけない
- ・電気器具のスイッチの入・切をしない
- ・電源プラグの抜き差しをしない
- ・周辺の電話も使用しない



火気禁止

火や火花で引火し、
火災の原因になります。

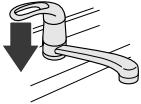


必ずお守りください(安全上の注意)-2

⚠️警告

地震、火災などの緊急の場合は、次の手順に従う

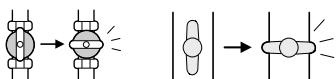
1. 給湯栓を閉める



必ず守る

2. リモコンの運転スイッチを「切」にする

3. ガス栓・給水元栓を閉める



点火しない場合または、使用中に異常な臭気、異常音、異常な温度を感じた場合や、使用途中で消火する場合は、ただちに使用を中止しガス栓を閉める

使用中に異常があった場合は、「故障・異常かな?と思ったら」(☞P19~24)に従い処置をする

上記の処置をしても直らない場合は、使用を中止し、販売店に連絡する

シャワー使用時に使用者以外が、リモコンの温度を変えたり、運転スイッチ「切」にしたり、「優先」を切り替えたりしない



禁止

高温に変更されたときのやけど予防のため。
また、低温に変更されたり運転スイッチ「切」にされると、冷水になって使用者が驚く原因になります。

子供を浴室内で遊ばせない
子供だけで入浴させない



禁止

お湯の中にもぐったり、下部循環口のフィルターを外して使用しない



禁止

運転中に体の一部や髪の毛などが吸い込まれて、おぼれたり、ケガをするおそれがあります。

お客様ご自身では絶対に分解したり、修理・改造はおこなわない



分解禁止

思わぬ事故や故障の原因になります。

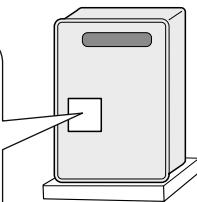
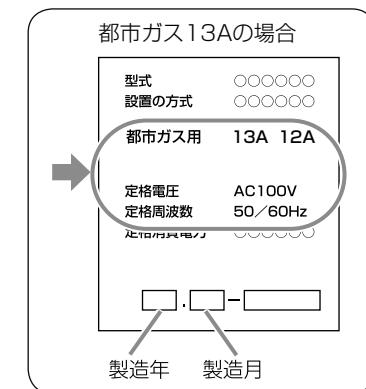
ガス配管接続工事には専門の資格、技術が必要なため、機器の設置・移動・取り外しおよび付帯工事は、販売店または、もよりの大坂ガスに依頼する



必ず守る

安全に使用していただくため。

必ず銘板に表示のガス・電源で使用する



必ず守る

表示のガス種および電源が一致しないと、不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、異常点火でやけどしたり、機器が故障する場合があります。

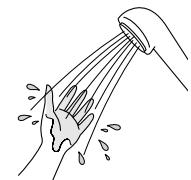
特に転居した場合は、必ずガスの種類(電源の種類)が一致しているかどうか確認してください。わからない場合は、販売店または、もよりの大坂ガスに連絡してください。

シャワーなどお湯の使用時は、リモコンに表示の温度をよく確かめ、手で湯温を確認してから使用する



高温注意

60℃の高温で使ったあと、あらためて使用するときは特に注意してください。
やけど予防のため。



浴槽の湯温を手で確認してから入浴する
やけど予防のため。

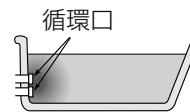


追いだき・ふろ自動(沸かし直し)中は、循環口から熱いお湯が出るのでさわらない



高温注意

やけど予防のため。



太陽熱温水器とは絶対に接続しない
(ソーラー対応ミキシングユニット<スカイブレンダー>を使用する場合は除く)



禁止

お湯の温度制御ができなくなり、やけどや機器の故障の原因になります。

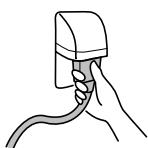
電源プラグはぬれた手でさわらない

感電の原因になります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不充分だと、感電や火災の原因になります。



電源プラグのホコリは定期的に取る

ホコリがたまると、火災の原因になります。

電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



電源コード、電源プラグの破損・加工をしない
束ねたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、物を載せたり、衝撃を与えたりして無理な力を加えない。傷つけない。加工をしない。

感電、ショート、火災の原因になります。

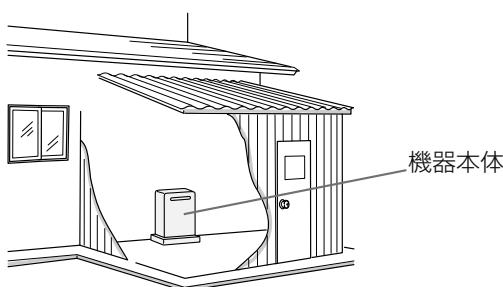


機器本体やガスの配管、排気口などに乗つたりして、無理な力を加えない

ケガや、機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。



増改築などで屋内状態にしない
(波板囲いなどをしない)



一酸化炭素中毒・火災の原因になります。



灯油、ガソリン、ベンジンなど、引火のある物がある物を機器本体や排気口のまわりで使用しない

火災の原因になります。



スプレー缶やカセットこんろ用ボンベを、機器本体や排気口のまわりに置かない、使用しない

熱でスプレー缶の圧力が上がり、スプレー缶が爆発するおそれがあります。



燃えやすい物を機器本体や排気口のまわりに置かない

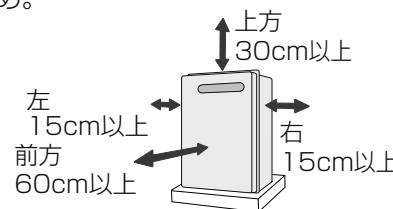
(洗濯物、新聞紙、灯油など)

火災の原因になります。



燃えやすい物とは離す(樹木、木材、箱など)

火災予防のため。



外壁の塗装や増改築、家屋の修繕時などに機器本体が養生シートで覆われた場合は、機器を使用しない

不完全燃焼や一酸化炭素中毒、異常点火の原因になります。



【排気方向を上方へ変更するカバーを取り付いている場合】

カバーに雪が積もっていたら、除雪する



雪で排気が閉塞すると、不完全燃焼や機器の故障の原因になります。



必ずお守りください(安全上の注意)-3

⚠ 注意

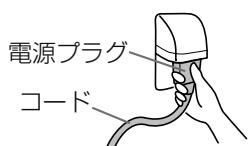
必ずアースする

機器が故障した場合、感電の原因になります。
アースがされていない場合は、販売店または、アースする
もよりの大坂ガスにご相談ください。



電源プラグは、コードを持たずに電源プラグを持って抜く

コードを持って抜くと、
コードが破損し、発熱、
火災、感電の原因になり
ます。



必ず守る

機器の給気口がホコリ・ゴミなどでふさがっ ていないか確認する

不完全燃焼の原因になります。



必ず守る

子供を機器の周囲で遊ばせない

思わぬ事故の原因になります。



禁止

給湯、シャワー、おふろ以外の用途には使
用しない

思わぬ事故を予防するため。



禁止

使用中や使用後しばらくは、排気口付近に 触れない

やけど予防のため。



接触禁止

機器の点検・お手入れ・水抜きをする場合、
リモコンの運転スイッチ「切」にし、機器が
冷えてからおこなう



必ず守る

やけど予防のため。

機器の使用直後は、機器内のお湯が高温になっています。

乾電池に関する注意(取り替え機器についてのお願い)

機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依
頼してください。

もしお客さまでお客さままで旧機器の処理をされる場合、乾電池を
使用している機器は、乾電池を取り外してから正規の処理
をしてください。

お願い

雷が発生したじめたら、すみやかに運転を停止し、電源プラグを電源コンセントから抜く
(またはブレーカーを落とす)

雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。

雷がやんだあとは電源プラグを電源コンセントに差しこみ、時計をあわせてください。

※冬期は、電源プラグを長時間抜くと凍結のおそれがあります。



浴槽の循環口をタオルなどでふさがない
穴に物を詰めない



おふろ沸かしができません。
機器の故障の原因になります。

硫黄(イオウ)を含んだ入浴剤は使用しない

入浴剤・おふろがま洗浄剤・洗剤などを使用するときは、注意書きをよく読み、正しく使用する

入浴剤・おふろがま洗浄剤の種類によっては、機器の熱交換器を腐食させたり、ポンプの能力が低下する原因になるものがあります。

これらを使用して追いかいたときに、異常音が出たり、追いかきできなくなる場合は、使用をやめてください。おふろがま洗浄剤の使用に際しては、注意書きをよく読み、正しく使用してください。

浴槽、洗面台はこまめに掃除する

水中に含まれる微量の銅イオンと、人体のあかやせっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、浴槽や洗面台が青く着色することができます。こまめに掃除をして湯あかやせっけん成分を洗い流すことで、これを予防できます。

浴槽の下部循環口のフィルターはこまめに掃除する
ポンプ故障の予防のため。

機器のまわりはきれいにしておく

まわりが雑草、木くず、箱などで雑然としていると、機器の内部にゴキブリが侵入したりクモの巣がはつたりして、機器の損傷や火災の原因になることがあります。

温泉水、井戸水、地下水で使わない

水質によっては、機器内の配管に異物が付着したり、腐食して水漏れすることがあります。
この場合の修理は保証期間内でも有料になります。

機器や配管に長時間たまつた水や、朝一番のお湯は飲まない、調理に使用しない

雑用水として使用してください。

断水時は運転を停止し、給湯栓を閉める

給湯栓を開けたままにしておくと、給水が復帰したときに水が流れっぱなしになります。

断水復帰後の使い始めのお湯は飲まない、調理に使用しない

断水したときは飲用や調理用に適さない水が配管にとどまることがあります。

断水復帰後は、給湯栓から充分水を流してから使用する

排気ガスが直接建物の外壁・窓・アルミサッシなどや、物置などの塗装品などに当たらないように設置する

増改築時も同様に注意する

ガラスが割れたり、変色したり、塗装がはがれたりする原因になります。

埠などを増設する場合は、機器の点検・修理に必要な空間を確保し、空気の流れが停滞しないように考慮する

埠などと機器との間に充分な空間がないと、機器の点検・修理に支障をきたす場合があります。

また、機器の周囲の空気の流れが停滞すると、燃焼不良になるおそれがあります。

(機器の修理・点検に必要な空間については、販売店または、もよりの大坂ガスに確認してください)

(つづく)

必ずお守りください(安全上の注意)-4

(つづき)

リモコンの運転スイッチ「切」時にはお湯側から水を出さない

お湯を出すときには、運転スイッチ「入」を確認してください。

運転スイッチ「切」時にお湯側から長時間水を出すと熱交換器内に結露現象が発生し、不完全燃焼の原因になったり、電気部品の損傷の原因になる場合があります。

シングルレバー式混合水栓の場合は、レバーを完全に水側にセットしてから水を出してください。

この機器の純正部品以外は使用しない

思わぬ事故の原因になります。

使用時の点火、使用後の消火を確認する

ガス事故防止のため。

給湯栓を絞りすぎない

消火する直前の量でお湯を使うと、高温になる場合があります。

やけど予防のため。

リモコンの掃除には、塩素系・酸性・アルカリ性の洗剤や研磨剤入りの洗剤、ベンジン・シンナーなどの有機溶剤、メラミンスポンジを使用しない

変色・変形・傷・割れなどの原因になります。

台所リモコン・増設リモコンに、水しぶきをかけない、蒸気を当てない

炊飯器、電気ポットなどに注意。

故障の原因になります。

浴室リモコン・防水型増設リモコンに故意に水をかけない

防水型ですが、多量の水は故障の原因になります。

リモコンのふたに衝撃を与えない

リモコンのふたが破損する原因になります。

ふろふたを取り扱うときは、リモコンのふたに当たらないよう注意してください。

停電後や、長期不在などで電源プラグを抜いたあとは、現在時刻を確認する

時計がリセットする場合があります。

停電すると、運転が停止します

凍結による破損を予防する(☞P11~12)

暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、必要な処置をしてください。凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

長期間使用しない場合、必要な処置をする

(☞P13~14)

凍結および万が一のガス漏れを防止するため。

積雪時には給気口・排気口の点検、除雪をする

雪により給気口・排気口がふさがれると、機器の故障の原因になります。

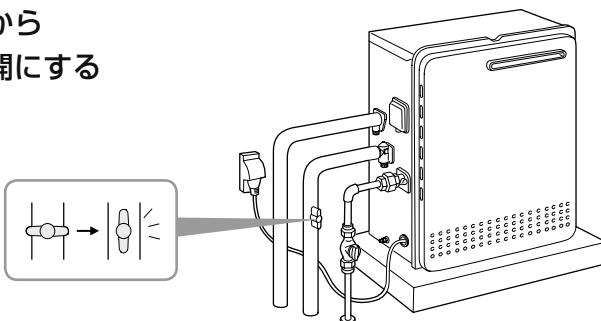
業務用の用途では使用しない

この製品は家庭用ですので、業務用の用途で使用すると製品の寿命を著しく縮めます。この場合の修理は、保証期間内でも有料になります。

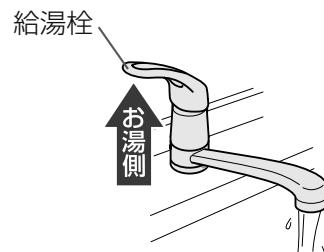
初めてお使いになるときは

初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

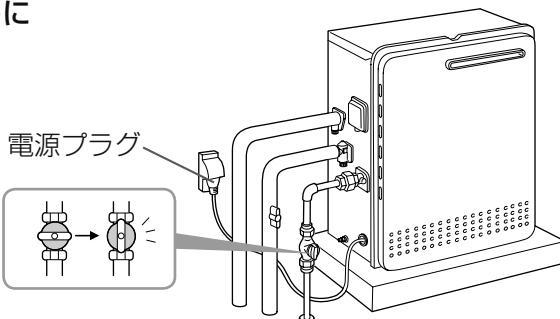
- 1 給水元栓をゆっくり開け、すべての水抜き栓から水漏れがないか確認してから、給水元栓を全開にする
(水抜き栓の位置☞P14)



- 2 給湯栓を開けて水が出ることを確認し、再度閉める

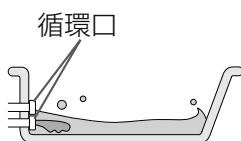


- 3 ガス栓を全開にし、電源プラグが電源コンセントに差し込まれていることを確認する
ぬれた手でさわらない



- 4 浴室リモコンでポンプの呼び水をする

- 運転スイッチを「入」にし、ふろ自動スイッチを「入」にする
- 浴槽の循環口から水が出てくることを確認する

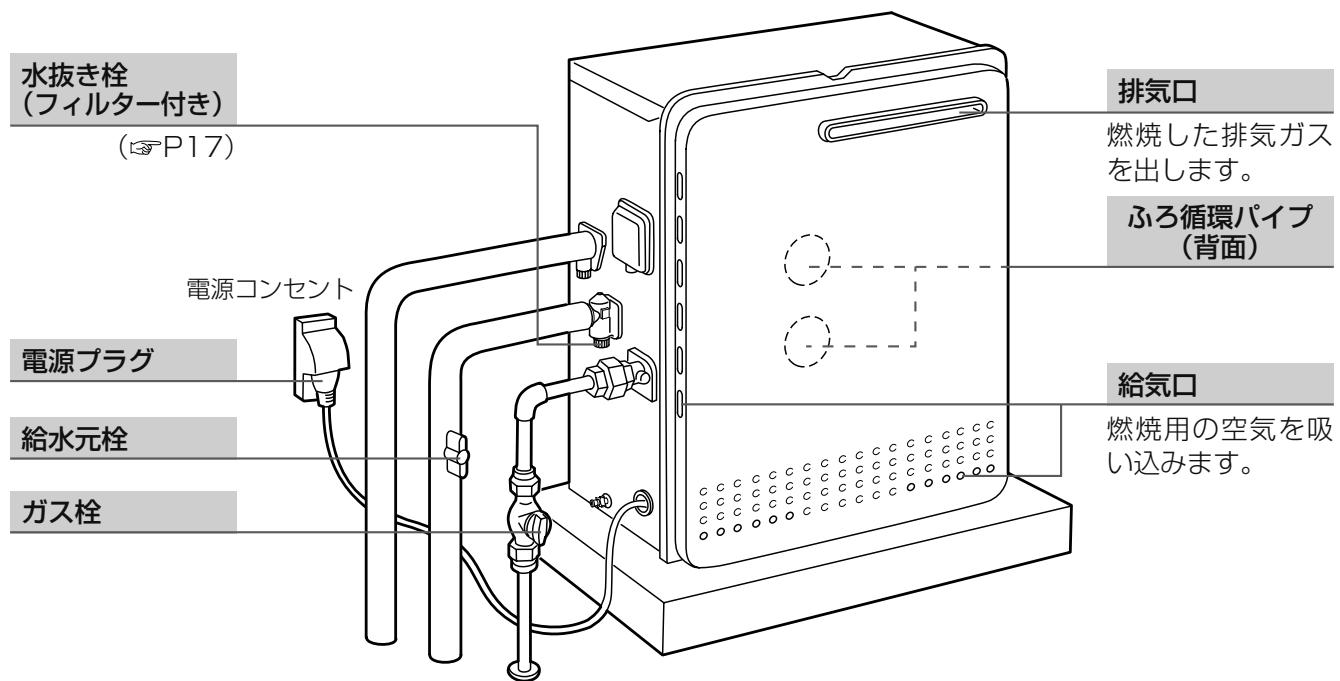


※リモコンに表示「111」が出たときは、運転スイッチをいったん「切」にし、もう一度手順4の1. よりやり直してください。

3. ふろ自動スイッチを「切」にする
4. 機器を使用しない場合は運転スイッチを「切」にする

各部のなまえとはたらき(機器本体)

イラストは施工例です。配管の形状、給水元栓・ガス栓・電源コンセントの位置など実際と異なります。



凍結による破損を予防する-1

お願ひ

凍結による破損を
予防する

- * 暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、以下をお読みいただき、必要な処置をしてください。
- * 凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

通常の寒さのとき

(右の気象条件ほど厳しくないとき)

処置1 をする

●低温注意報が発令されたとき

- 外気温が極端に低いとき(-15°C以下)
- 15°Cより高くて風があるとき

処置1+2 をする

※上記の気象条件の場合は、
処置1のみでは凍結予防できません

長期間
使用しないとき

P13~14の方法で
水抜き をする

処置 1 凍結予防ヒーター+ポンプ運転による方法

運転スイッチ「入」「切」に関係なく、自動的に凍結予防します

電源プラグを抜かない

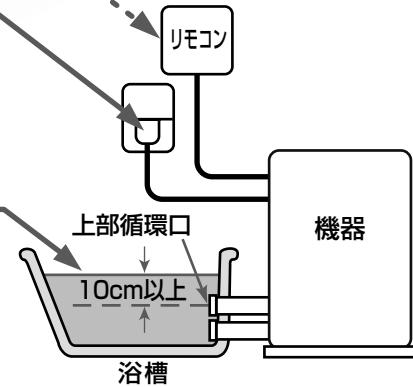
電源プラグを入れておくと、凍結予防ヒーターで機器内の凍結予防をします

給水・給湯配管や、給水元栓およびふろ配管などの凍結は予防できません。必ず保温材または電気ヒーターを巻くなどの地域に応じた処置をしてください。(わからないときは、販売店に確認してください)

浴槽の上部循環口センターより
10cm以上水を入れておく

ポンプで浴槽の水を循環させ、ふろ配管の凍結予防をします(燃焼はしません)

* このときリモコンに凍結予防運転中マークが点灯します。(ポンプの運転音(ウーン)がします)
* 水がないとポンプが空運転し、機器から大きな音が発生する場合があります。



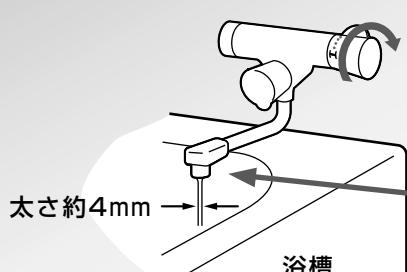
<ポンプの運転音が気になるときの処置>

浴槽の水をすべて排水してください。凍結予防がはたらくと一度ポンプの運転音(ウーン)がしますが、その後は運転しません。(延長配管されている場合は、そのパイプの水が凍結して、すぐに使用できない場合があります。そのときは自然に解凍するまでお待ちください)

処置 2 通水による方法

1 リモコンの運転スイッチ「切」にする

2 サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓の場合は、最高温度側にする



3 おふろの給湯栓を開き、少量の水を流したままにする

少量の水とは…1分間に約400cc、太さ約4mm

4 約30分後、流れる量を確認する

流量が不安定になっている場合があります

* 機器だけでなく、給水・給湯配管、給水元栓なども同時に凍結予防できます。

* 結露現象予防として、運転スイッチ「切」の状態で給湯栓から水を出さないようにお願いしていますが(P8)凍結予防の処置の場合は問題ありません。

* サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓の場合、再使用時の温度設定にご注意ください。やけど予防のため。

* この処置をしても凍結するおそれのある場合には、P13~14の手順で水抜きをおこなってください。

凍結による破損を予防する-2

凍結してお湯(水)が出ないとき

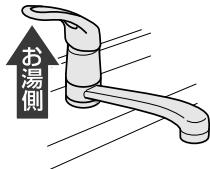
■リモコンの運転スイッチ「切」にする

- *「入」にしていると燃焼する場合があります。
- *気温の上昇により自然に解凍するまで待つことをおすすめします。

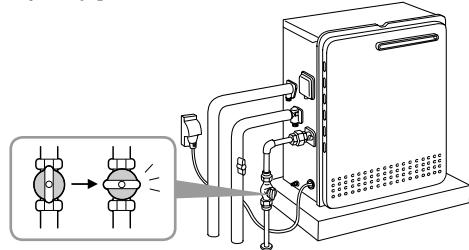
■すぐにお湯を使いたい場合は、以下の方法をお試しください

1 リモコンの運転スイッチを「切」にする

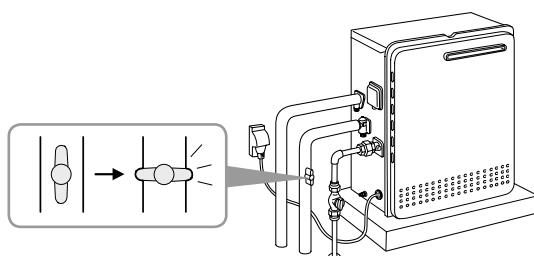
2 台所などの給湯栓を少し開けておく



3 ガス栓を閉める



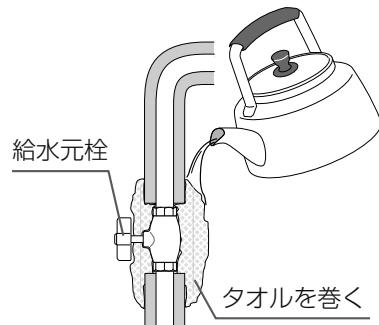
4 給水元栓を回してみる(閉めてみる)



■ 給水元栓が凍結して回らない場合

- 1)タオルを給水元栓のまわりに巻く。
- 2)人肌程度(30℃~40℃)のぬるま湯を給水元栓に巻いたタオルにゆっくりかける。

注意
*熱湯をかけると配管が破裂するおそれがあります。
*機器の電源プラグ、コード、電源コンセントにお湯がかかるないように注意してください。
*ガス栓とまちがえないように注意してください。



- 3)給水元栓が回る(水が流れる音がする)ようになったら、給湯栓を閉める。
- 4)タオルを外し、給水元栓のまわりについた水を乾いた布でふき取る。
- 5)今後凍結しにくいようにするため、給水元栓まわりに保温材をかぶせるなどの処置をする。(わからないときは、販売店に確認してください)

■ 給水元栓が回るのに水が出ない場合

給水元栓を必ず閉め、気温の上昇により自然に解凍するのを待つか、販売店または、もよりの大坂ガスにご連絡ください。

*凍結した場合は、そのままでは絶対に使用しないでください。

機器の故障の原因となります。

*給湯栓から水が出るようになっても、機器や配管から水漏れがないかよく確認のうえ使用してください。

長期間使用しないとき(水抜きの方法)-1

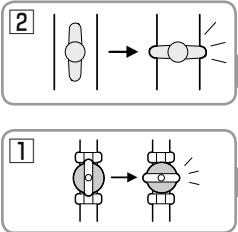
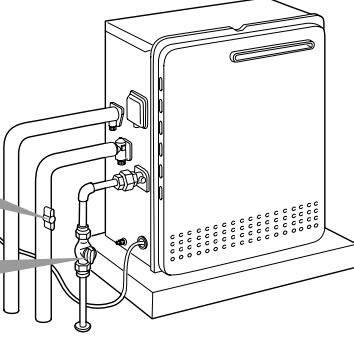
△注意



機器の水抜きをする場合、リモコンの運転スイッチ「切」にし、機器が冷えてからおこなう

やけど予防のため。機器の使用直後は、機器内のお湯が高温になっています。

*P14のイラストを参照してください。

	操作	お知らせ
準備	水抜き栓などからお湯(水)が約1.2リットル出ますので、機器の下に容器などを置いて排水を受けてください。	
1 ガス栓①と給水栓②を閉める	 	
2 浴槽内の水を完全に排水する		
3 家のすべての給湯栓を全開にする		
4 1. リモコンの運転スイッチを「入」にする 2. 追いだきスイッチを「入」にし、循環口から水が出ることを確認する 3. 循環口から水が出なくなったら運転スイッチを「切」にする		<p>*リモコンに故障表示「562」または「632」を表示することがありますが、異常ではありません。 *このあと、浴槽に水を流し込まないでください。</p>
5 1. 水抜き栓③を少しずつ左に回して開ける 2. 水抜き栓(フィルター付き)④を左に回して外す 3. 過圧防止安全装置(水抜き栓)⑤を左に回して開ける 4. 約2分そのままにする		<p>*水抜き栓から勢いよく水が飛び散る可能性があります。</p>
6 1. リモコンの運転スイッチを「入」にする 2. リモコンのふろ自動スイッチを「入」にし、約1分そのままにする 3. リモコンの運転スイッチを「切」にする		<p>*リモコンに故障表示「562」または「632」を表示することがありますが、異常ではありません。</p>

必要なとき

(つづく)

長期間使用しないとき(水抜きの方法)-2

(つづき)

操作

お知らせ

7

機器の電源プラグを抜く
ぬれた手でさわらない

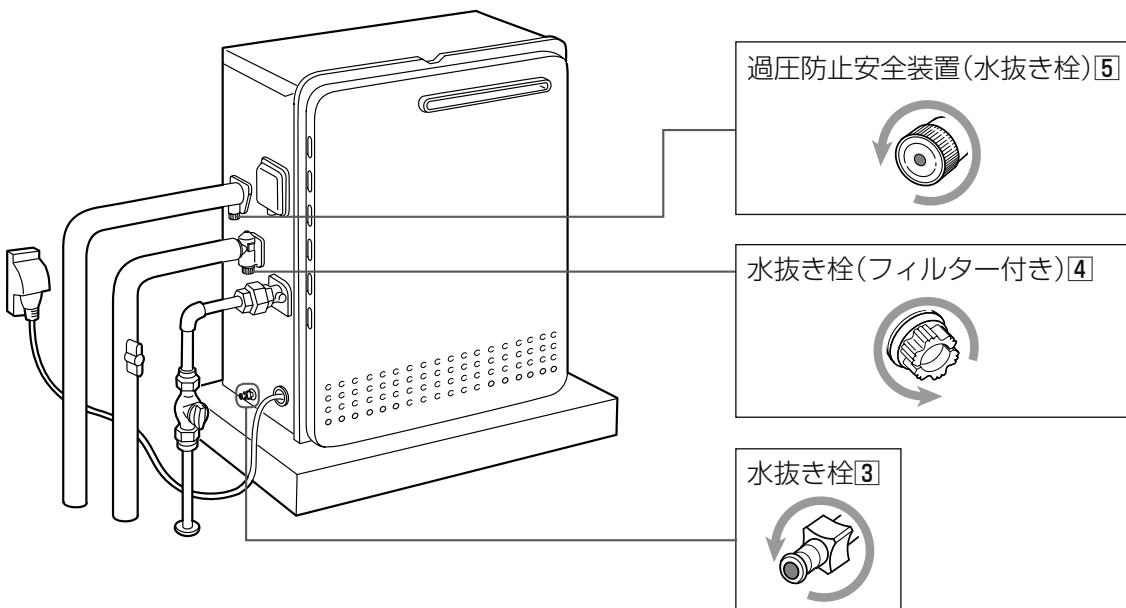


8

完全に排水したことを確認したあと、すべての水抜き栓・過圧
防止安全装置(水抜き栓)・家のすべての給湯栓を閉める
確実に閉まっていることを確認する

*水抜き完了後は、リモコンのふろ自動スイッチや追いだきスイッチを押さないで
ください。

※各水抜き栓は、配管の保温材に隠れて見えにくいことがあります。



水抜き後の再使用のとき

1. すべての水抜き栓・過圧防止安全装置(水抜き栓)・家のすべての給湯栓が確実に閉まっていることを確認する。
2. 給水元栓を開ける。
3. 家中のすべての給湯栓を開け、水が出ることを確認してから閉め、機器や配管から水漏れがないかよく確認する。
4. ガス栓を開け、電源プラグを電源コンセントに差し込む。
5. ポンプの呼び水をする。(☞P9の手順4)

日常の点検・お手入れのしかた-1

△注意



機器の点検・お手入れをする場合、リモコンの運転スイッチ「切」にし、機器が冷えてからおこなう

やけど予防のため。

機器の使用直後は、機器内のお湯が高温になっています。

点検(定期的に)



【排気方向を上方へ変更するカバーを取り付けている場合】

カバーに雪が積もっていないか？

→ 積もっている場合は、除雪する。



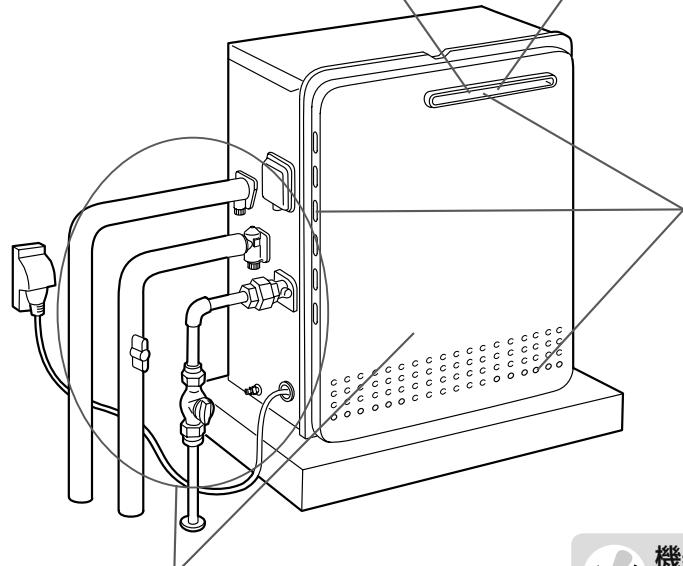
排気口にススがついていないか？

→ ついていたら、販売店または、もよりの大坂ガスへ連絡する。



排気口・給気口がホコリなどでふさがっていないか？

→ ふさがっている場合は、掃除する。



* 機器外装に異常な変色はないか？

* 機器外装の下部周辺などにサビや穴開きはないか？

* 運転中に機器から異常音が聞こえないか？

* 機器・配管から水漏れはないか？

→ 現象があった場合は、販売店または、もよりの大坂ガスへ連絡する。



機器や排気口のまわりに洗濯物・新聞紙・木材・灯油・スプレー缶など、燃えやすいものを置いていないか？

→ 燃えやすいものを置かない。

必要なとき

日常の点検・お手入れのしかた-2

お手入れ(こまめに掃除)

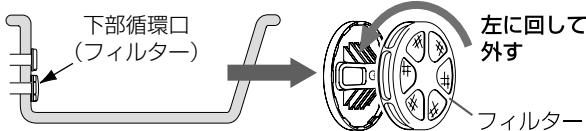
● 下部循環口のフィルター ●

フィルターが詰まると、おふろの温度がご希望の温度にならないおそれがありますので、以下の方法で必ずこまめに掃除してください。

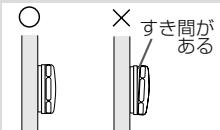
※リモコンの運転スイッチ「切」にしてからおこなってください。

※フィルターは必ず正常に取り付けて使用してください。外したままや、正常に取り付けられていない状態で使用すると、機器が故障することがあります。

1. 浴槽内の下部循環口のフィルターを左に回して外す。
2. フィルターを水洗いし、掃除する。
3. フィルターを下部循環口に元どおり取り付ける。



フィルターは循環口との間にすき間ができるないように取り付けてください。



フィルターを外したまま、または、正常に取り付けられていない状態で使用すると、機器が故障することがありますので、必ず正常に取り付けた状態で使用してください。

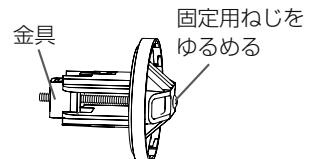
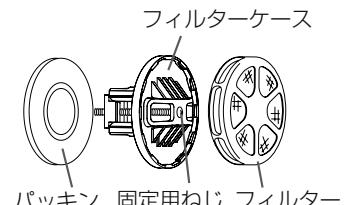
【フィルターとフィルターケースと一緒に回ってしまうとき】

- 1) フィルターケース側に手を添えて、一緒に回らないようにしながらフィルターを左に回して外す。
- 2) フィルターケースを下部循環口に奥まで差し込んだ状態で、フィルターケース中央にある固定用ねじを、フィルターケースが容易に動かなくなるまで右に回し込む。(締めすぎると下部循環口側が破損するおそれがありますので、ご注意ください)
- 3) フィルターを元どおり取り付ける。

【フィルターがフィルターケースごと下部循環口から外れてしまったとき】

- ※浴槽の排水栓は閉めておいてください。(ねじなどの紛失防止のため)
※パッキンをなくさないでください。
- 1) フィルターをフィルターケースから外す。
 - 2) フィルターケース中央にある固定用ねじを \oplus ドライバーで左に回して、金具が外れない程度にゆるめる。(右図)
 - 3) フィルターケースにパッキンをはめ、そのまま下部循環口に奥まで差し込む。
 - 4) ゆるめた固定用ねじを、フィルターケースが容易に動かなくなるまで右に回し込む。(締めすぎると下部循環口側が破損するおそれがありますので、ご注意ください)
 - 5) フィルターを元どおり取り付ける。

こんなときは



お手入れ(定期的に)

● 機器本体 ●

- * 機器本体の外装の汚れは、ぬれた布で落としたあと充分水気をふき取ってください。
特に汚れのひどいときは、中性洗剤を使用してください。
- * 海に近く潮風が当たりやすい地域の場合、潮風によって、機器本体および配管接続部にサビが発生する場合があります。サビがひどい場合は、機器本体内部への影響も考えられますので、点検(有料)をおすすめします。

● リモコン ●

リモコンの表面が汚れたときは、湿った布で軽くふいてください。

お願い	リモコンの掃除には、塩素系・酸性・アルカリ性の洗剤や研磨剤入りの洗剤、ベンジン・シンナーなどの有機溶剤、メラミンスポンジを使用しない	お願い	リモコンに、水しぶきをかけない、蒸気を当てない、故意に水をかけない
変色・変形・傷・割れなどの原因になります。		炊飯器、電気ポットなどに注意。故障の原因になります。防水型のリモコンでも、多量の水は故障の原因になります。	

● おふろの配管 ●

- * ポンプで浴槽の水を循環させるため、湯あかはたまりにくくなっています。
- * ふろ配管クリーンによって配管内の残り湯を押し出すことができます。(☞リモコン操作編の取扱説明書)

● 水抜き栓のフィルター ●

水抜き栓のフィルターにゴミなどが詰まると、お湯の出が悪くなったりお湯にならない場合がありますので、以下の方法で掃除をしてください。

※お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、リモコンの運転スイッチ「切」にして機器が冷えてからおこなってください。(やけど予防のため)

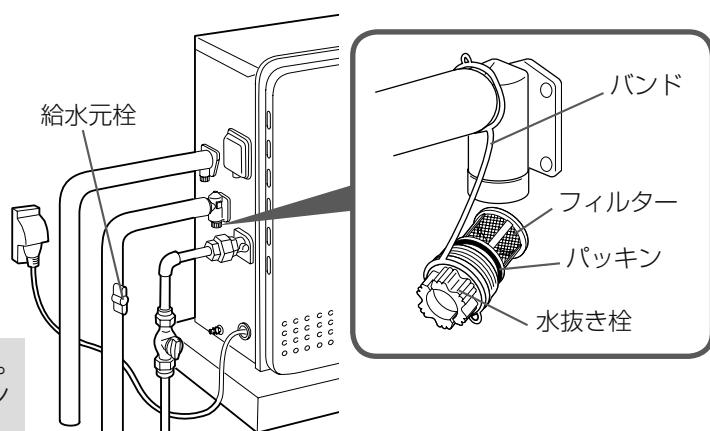
※水抜き栓からお湯(水)が出ますので、機器の下に容器などを置いて排水を受けてください。

1. 給水元栓を閉める。
2. すべての給湯栓を開ける。
3. 水抜き栓を左に回して外す。(※1)(※2)
4. 配管とつながっているバンドから外す。
5. フィルター部分を歯ブラシなどで水洗いする。(※3)
6. 元どおりに水抜き栓を取り付ける。
7. すべての給湯栓を閉める。
8. 給水元栓を開け、水抜き栓の周囲に水漏れがないことを確認する。

(※1)このとき水(湯)が出るので注意してください。

(※2)水抜き栓が固くて回らない場合は、コインなどを水抜き栓の切り欠きに差し込んで、回してみてください。

(※3)水抜き栓からフィルターが外れた場合は、水抜き栓とフィルターの間のパッキンをなくさないように注意してください。



● 定期点検のおすすめ(有料) ●

ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。

なお、給水用具(逆流防止装置)に関しては、日本水道協会発行の給水用具の維持管理指針に示されている定期点検の実施をおすすめします。時期は4~6年に1回程度をおすすめします。点検は販売店または、もよりの大坂ガスにご相談ください。

「あんしん点検」のおすすめ

本製品は、ご使用開始から10年前後をめどに「あんしん点検」(有料・任意点検)をお受けいただくことをおすすめいたします。

● あんしん点検について ●

【点検の内容について】

- ・あんしん点検は、お客様の任意で受けていただく有料の点検です。(法定点検ではありません)
- ・あんしん点検は、点検時点での製品の安全を確認するためのもので、製品の延命や性能の保証を延長するものではありません。
- ・点検の実施は、大阪ガスまたは大阪ガスが委託した事業者が行います。
- ・点検の内容および点検基準は、「経済産業省関係特定保守製品に関する省令」に定められた法定点検の内容、基準を参考に、当社で設定しています。
(例: 製品の設置状況の確認、作動確認、内部の漏れ、詰まり、変色、性能確認など)
- ・点検の結果は、「点検作業票」にてお知らせします。点検の結果、何らかの整備(修理・部品の交換等)が必要な場合には、整備内容についてご提案させていただき、お客様にご了解をいただいた上で行います。

【点検料金および点検の依頼先について】

- ・点検は有料で実施させていただきます。また点検の結果、整備を実施する場合は、別途整備費が発生いたします。
なお、あんしん点検の内容や料金などにつきましては、下記のアドレスからご覧いただけます。
<http://www.osakagas.co.jp/>
インターネットでご確認できない場合は、別紙記載の「大阪ガスのお問い合わせ先」にご連絡ください。

【点検を依頼されるとき】

- ・点検のお申し込みは販売店または、もよりの大阪ガスへご依頼ください。

● 点検の時期について ●

本製品は、設計上の標準使用期間※を10年と算定しておりますので、ご使用開始から10年前後をめどに「あんしん点検」をお受けいただくことをおすすめいたします。

※設計上の標準使用期間とは、標準的な使用条件の下で、適切な取扱いで使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間になります。「無料修理保証期間」とは異なりますのでご注意ください(無料修理保証期間は保証書を参照願います)。

故障・異常かな？と思ったら-1

★別冊「リモコン操作編」をご覧ください。

こんなときは	こんなことが考えられます	処置
給湯栓を開いてもお湯が出てこないお湯にならない	ガス栓・給水栓が全開になっていない。 断水している。 給湯栓が充分開いていない。 ガスメーター(マイコンメーター)がガスを遮断している。 LPガスの場合、ガスがなくなっている。	ガス栓・給水栓を全開に。 復旧を待つ。 給湯栓を充分に開ける。 もよりの大阪ガスに連絡を。 他のガス器具が使用できるか確認→使用できなければご使用のLPガス事業者に連絡を。 ☞P17
お湯が出てくるまで時間がかかる	水抜き栓のフィルターにゴミなどが詰まっている。 凍結している。 リモコンの運転スイッチ「切」になっている。 夏場などの水温が高いときに、低温のお湯を少量出そうとすると、お湯になりません。 混合水栓をご使用の場合、水が回り込んでお湯がぬるくなることがあります。	☞P12 運転スイッチ「入」に。 給湯温度を上げるか、給湯栓をもっと開いて使用する。 ☞★ 異常ではありません。
低温のお湯が出ない	機器から給湯栓まで距離があるためです。	異常ではありません。
	給水栓が全開になっていない。 給湯温度の設定が合っていない。 給湯栓が充分開いていないときや、夏場などの水温が高いときは、お湯の温度が設定温度より高くなることがあります。 ソーラー対応ミキシングユニット<スカイブレンダー>を使用して太陽熱温水器と接続している場合、太陽熱温水器でお湯の温度が高くなるため、低温のお湯が出ない場合があります。	給水栓を全開に。 給湯温度を適温に設定する。 ☞★ 給湯栓を充分に開ける。 異常ではありません。
高温のお湯が出ない	ガス栓が全開になっていない。 給湯温度の設定が合っていない。	ガス栓を全開に。 給湯温度を適温に設定する。 ☞★
給湯栓を絞ると水になった	給湯栓から流れるお湯の量が1分間に約3.5リットル以下になったとき消火します。給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。	異常ではありません。

故障・異常かな？と思ったら-2

(つづき)

★別冊「リモコン操作編」をご覧ください。

	こんなときは	こんなことが考えられます	処置
お湯・シャワー	給湯温度の調節ができない	操作しているリモコンが優先になっていない。	操作しているリモコンに優先を切り替える。☞★
	給湯温度の設定がある温度以上、上げられない	給湯温度の上限を設定している。	給湯温度の上限の設定を確認する。☞★
	お湯が白くにごって見える	水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、細かい泡となって出てくる現象で、無害なものです。	異常ではありません。
	給湯栓から出るお湯の量が変化する	お湯を使用中に、他の場所でお湯を使用したりふろ自動をすると、お湯の量が減る場合があります。また、水道の圧力や配管条件によっては、極端にお湯の量が減ったりいったん止まる場合があります。	異常ではありません。他の場所での使用をやめたり、ふろ自動や追いだきが終わると、元に戻ります。
		お湯の温度を早く安定させるために、初め少なく出てその後安定するなど、出湯量が変化することがあります。	異常ではありません。
		水道の圧力や配管条件によっては、お湯の量が変化する場合があります。また、水栓の種類によっては、初め多く出てその後安定するなど、お湯の量が変化するものがあります。	異常ではありません。
おふろ	ふろ温度の設定がある温度以上、上げられない	ふろ温度の上限を設定している。	ふろ温度の上限の設定を確認する。☞★
	設定したふろ温度どおりに沸き上がらない	お湯はり中にふろ温度を低く設定し直した場合、実際の沸き上がりの温度は設定温度より高くなることがあります。	異常ではありません。
	おふろのお湯がぬるい おふろのお湯が熱い	ふろ温度の設定が合っていない。	ふろ温度を適温に設定する。☞★
		浴槽の下部循環口のフィルターにゴミや毛髪が詰まっている。	☞P16
		浴槽の下部循環口のフィルターが確実に取り付けられていない。	確実に取り付ける。☞P16
		ふろ温度の上限を設定している。	ふろ温度の上限の設定を確認する。☞★
	浴槽の循環口からお湯が出たり止まったりする	ふろ自動スイッチを押すと、残り湯の量を確認するためにポンプが作動し、しばらくは循環口からお湯が出たり止まります。	異常ではありません。
	おふろを使用していないのに浴槽の循環口からお湯(水)が出る	お湯を使うと、機器内があたためられて、配管に残っている水が循環口から出ることがあります。	異常ではありません。
		凍結予防のためポンプが作動し、配管に残っている水が循環口から出る場合があります。	異常ではありません。
		浴槽のお湯(水)を排水中、ふろ配管クリーンがはたらくと、循環口からお湯が出ます。	異常ではありません。

こんなときは	こんなことが考えられます	処置	
おふろ	設定したふろ湯量どおりに沸き上がらない	ふろ湯量の設定が合っていない。 浴槽の下部循環口のフィルターにゴミや毛髪が詰まっている。 沸き上がらないうちに、何度もリモコンのふろ自動スイッチの「切」「入」をくりかえすと、お湯があふれることができます。 上記3点を確認してもなお問題のあるときは、記憶しているふろ湯量(水位)が合っていない可能性があります。	ふろ湯量を適量に設定する。☞★ ☞P16 異常ではありません。 ふろ湯量(水位)をリセットする。☞★
	浴槽の循環口から「ボコ、ボコ」と空気の出る音がすることがある	おふろの配管などにたまたま空気が出る音です。	異常ではありません。
	お湯はりの初めに水が出る	水温が高いときや、ふろ温度を低く設定しているときは、お湯はりの初めに水が出る場合があります。	異常ではありません。
	ふろ自動や追いだきの沸き上がりがいつもより遅い	ふろ自動と給湯を同時に使うと、お湯はりを一時中断します。そのため、沸き上がりが遅くなったり、ふろ自動が途中で停止したりします。	異常ではありません。給湯の使用をやめると改善します。
	ふろ自動が途中で停止した		
	ふろ自動や追いだきを始めるとにごったお湯が出る	ふろ配管クリーンをしていない場合、ふろ自動や追いだきを始めた直後、配管中の残り湯が若干混入します。特にごり系の入浴剤を使用した場合は、目立つことがあります。	ふろ配管クリーンをする。☞★
	追いだきができない 追いだきが途中で停止した	浴槽の上部循環口の中央より10cm以上、お湯(水)が入っていない。 ポンプの呼び水をしていない。 浴槽の下部循環口のフィルターにゴミや毛髪が詰まっている。 断水している。(断水時は、浴槽にためていた残り湯の追いだきはできません)	確認する。 ☞P9の手順4 ☞P16 復旧を待つ。
	追いだきしても ふろ温度が上がらない	ふろ温度の上限を設定している。	ふろ温度の上限の設定を確認する。☞★

故障・異常かな？と思ったら-3

こんなときは	こんなことが考えられます	処置
寒い日に排気口から湯気が出る	冬に吐く息が白く見えるように、排気ガス中の水蒸気が白く見えます。	異常ではありません。
運転中に停止した	ガス栓・給水元栓が全開になっていない。 断水している。 給湯栓が充分開いていない。	ガス栓・給水元栓を全開に。 復旧を待つ。 給湯栓を充分に開ける。
	ガスマーテー(マイコンメーター)がガスを遮断している。 LPガスの場合、ガスがなくなっている。	もよりの大坂ガスに連絡を。 他のガス器具が使用できるか確認→使用できなければご使用のLPガス事業者に連絡を。
運転を停止しても、しばらくの間ファンの回転音(ブーン)がする リモコンの運転スイッチを「入」「切」したり、給湯栓を開閉したり、機器の使用後しばらくするとモータが動く音(クックッ、クー)がする	再使用時の点火をより早くするため、また、再使用時にお湯の温度を早く安定させるために機器が作動している音です。	異常ではありません。
ポンプの回転音(ウーン)がする	追いだき終了後、お湯をまぜるためにポンプがしばらく作動することがあります。 ふろ予約時、予約時刻の1~2時間前に、残り湯チェックのためポンプが作動します。	異常ではありません。
	気温が下がると、凍結予防のためにポンプが作動します。	異常ではありません。
過圧防止安全装置(水抜き栓)から、お湯(水)が少しの間出ることがある	機器内に高い圧力が生じたとき、過圧防止安全装置のはたらきにより、過圧防止安全装置(水抜き栓)から水滴が落ちることがあります。	異常ではありません。
浴槽や洗面台が青く変色した	水中に含まれる微量の銅イオンと、人体のあかやせっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、浴槽や洗面台が青く着色することがあります。	こまめに掃除をして湯あかやせっけん成分を洗い流すことで、これを予防できます。



リモコンに故障表示が出ているときは

不具合が生じたとき、リモコンの時計表示部に故障表示が点滅します。

下表に応じた処置をしてください。

(お客さまで対処できるもののみ記載しています)

故障表示 原因	処置
002 初めてふろ自動をするとき、浴槽に試運転時の水などが残っていたため	再度ふろ自動スイッチを押すと故障表示が消えますので、次回ふろ自動をするとき、浴槽内に残り湯がない状態でおこなってください。(それ以降は残り湯があってもふろ自動ができます)
011 給湯を連続60分以上運転したため	給湯栓を閉め、リモコンの運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして使用してください。
012 追いだきを連続90分以上運転したため	リモコンの運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にしてください。浴槽のお湯の温度が高温になっている場合は、安全のため点検を受けてください。
032 浴槽の排水栓の閉め忘れ	リモコンの音声「♪ おふろの栓を確認してください」でもお知らせします。 浴槽の排水栓を閉め、再操作をして表示・音声が出なければ正常です。
111 点火エラーが生じたため	リモコンの運転スイッチ「切」にし、※の事項を確認して、問題があれば処置してください。 その後運転スイッチ「入」にし、給湯栓を開いて表示が出なければ正常です。
161 お湯の温度が設定温度より異常に上がりすぎたため	給湯栓を閉め、リモコンの運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして、給湯栓をもっと開いて使用してください。
562 断水などで水が通っていないため(ふろ自動、追いだき、たし湯、たし水のとき)	給水元栓が開いているか、断水していないか(水栓から水が出るか)を確認し、いったんリモコンの運転スイッチ「切」にし、通水を確認してから再使用してください。
632 おふろの追いだきのとき、浴槽のお湯(水)が足りない 下部循環口のフィルター詰まり、または、フィルターが正常に取り付けられていないため	リモコンの運転スイッチをいったん「切」にして再び「入」にし、浴槽のお湯(水)を上部循環口の中央より10cm以上入れてからおふろの追いだきをしてください。 下部循環口のフィルターが詰まっていないか、フィルターが正常に取り付けられているか確認して、リモコンの運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして使用してください。
661 水量を調節する装置に異常が生じたため	しばらく使用はできますが、必ず販売店または、もよりの大坂ガスにご連絡ください。 ※ただし、以下の場合はすぐに使用をやめ、販売店または、もよりの大坂ガスにご連絡ください。 ・お湯の出始めや、お湯の量を変更したときに、設定温度よりも熱いお湯が出る ・高温のお湯が出る

※「111」表示時の確認事項

ガス栓が開いているか	▶ 開いていなければ、全開にしてください。
ガスマーター(マイコンメーター)がガスを遮断していないか	▶ 遮断していたら、もよりの大坂ガスにご連絡ください。
LPガスの場合、ガスがなくなっていないか(他のガス器具が使用できるか)	▶ 使用できなければ、ご使用のLPガス事業者にご連絡ください。

故障・異常かな？と思ったら-4

(つづき)

故障表示	原 因	処 置
900	本体の燃焼に異常が生じたため	リモコンの運転スイッチをいったん「切」にして再び「入」にしてもリセットできない、またはリセットしてもたびたび表示が出る場合は、修理を依頼してください。
901		
101	給排気に異常が生じたため、安全のために能力を低下させます	能力低下の状態で使用できますが、安全のため点検を受けてください。
991	本体の燃焼に異常が生じたため	機器が使用できません。 修理を依頼してください。

● 以下の場合は、販売店または、もよりの大坂ガスにご連絡ください ●

- * 前記以外の表示が出るとき
- * 前記の処置をしてもなお表示がくりかえし出るとき
- * その他、わからないとき

アフターサービスについて

サービスを依頼されるとき

P19~24と、リモコン操作編の取扱説明書「故障・異常かな？と思ったら」を調べていただき、なお異常のあるときは、販売店または、もよりの大坂ガスにご連絡ください。

● 連絡していただきたい内容 ●

- *型番 131-N630型
- *異常の状況（故障表示など、できるだけくわしく）
- *ご住所・ご氏名・電話番号
- *訪問ご希望日



保証について

取扱説明書の最終ページに保証書がついています。

保証書に記載されている保証期間・保証内容をよくご確認のうえ、大切に保管してください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造中止後10年です。

但し、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

移設される場合

転居などで機器を移設されるときは、機器(銘板)に表示してあるガスの種類・電源(電圧・周波数)が移設先と合っているか必ずご確認ください。

不明のときは、移設先のガス事業者、販売店または、もよりの大坂ガスにご相談ください。

ガスの種類の異なる地域へ移設されるときは、機器の改造・調整が必要です。この改造・調整に伴う費用は、保証期間中でも有料です。

※ガスの種類によっては改造・調整できない場合があります。

困ったとき

BL認定品について

BL認定品には、機器にBLマークを表示しています。

BL認定品は、「優良住宅部品」「瑕疵保証・賠償責任保険付」です。

ベターリビングお客様相談室の電話番号は「03-5211-0680」です。

(BLマーク)



主な仕様

- ・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
- ・出湯能力は湯水混合の計算値です。
但し、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
- ・ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

仕様表

型番	131-N630
型式名	GRQ-1650(S)AX
種類	給湯方式 先止め式
設置方式	屋外設置形
点火方式	放電点火式
水圧	使用水圧 <MPa> 0.1~0.75(1.0~7.5kgf/cm ²)<推奨水圧 約0.2~0.75(約2.0~7.5kgf/cm ²)> 作動水圧 <kPa> 10(0.1kgf/cm ²)
最低作動流量 <L/分>	3.5
外形寸法 <mm>	高さ623×幅464×奥行240
質量(本体) <k g>	27
接続口径	循環パイプ φ45(ゴム接続) 給湯 R1/2 給水 R1/2 ガス R1/2
電気関係	電源 AC100V(50/60Hz) 消費電力(50/60Hz) <W> 150/170 凍結予防ヒーター 139 待機時消費電力 <W> 2.8
湯温制御方式	電子式ガス比例制御方式
安全装置	立消え安全装置、残火安全装置、過熱防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、漏電安全装置、空だき防止装置、空だき安全装置、沸騰防止装置、停電時安全装置、誘導雷保護装置、ファン回転検出装置、過電流防止装置、逆流防止装置

能力表

使用ガス	1時間当たりのガス消費量(最大消費量) <kW>			出湯能力(最大時) <L/分>	
	給湯・ふろ同時使用	給湯	ふろ	水温+25°C上昇	水温+40°C上昇
都市ガス 13A	45.2	42.8	14.0	20	12.5
LPGガス	45.2	42.8	14.0	20	12.5